

■米国テニスヘッド社製 2086プロフェッショナル・テンションヘッド使用説明書



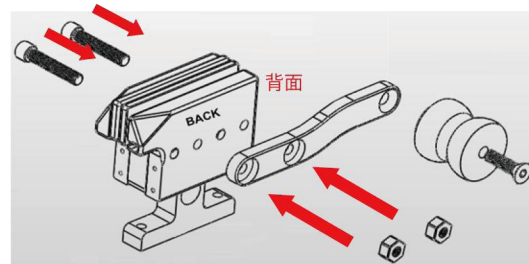
ガットを挟む力の調整



付属の六角レンチを図のように穴に差し込みます。
時計周りでキツくなり、逆に回すと緩くなります。

1. ガットツカミ部分

ステンレス製のガットツカミは、ローラーベアリングを採用することによって、よりスムーズにガットを引っ張ることができます。
ガットツカミ部の両側が平行して、ガットを傷つけることなくしっかりキャッチ。
ガットの太さに合わせて必要な補助器（ガットを通す部分の補助）を取り付けることが可能。（右記イラスト参照）



■補助器の装着方法

付属のレンチ(太)を使って、1番目と3番目（もしくは2番目と4番目）のネジを外します。
そして、補助器をガットツカミの裏面に取り付け、付属の長ネジを締めて補助器を固定する。
最後にキャップを装着すれば完成です。外した短ネジ2本は予備用に取って置いてください。

ガットのゲージの太さに合わせ、 ガットツカミのつかみ具合（きつい～ゆるい）を調節する

ガットツカミの裏面右側のネジを、レンチ(細)を使って調節することにより、
ガットのつかみ具合をゆるくしたりきつくしたりすることができます。
※時計周り→きつく、反時計周り→ゆるく

2. 操作パネル



1. CONSTANT PULL：テンションロスが出ないように、自動的にテンション補正をする機能
2. COUNT：電源を入れてからの、ガットを引っ張る回数をカウント
3. KILOS：テンション単位をキログラムに変更
4. START BUMPS：タッチ式電源スイッチ
5. UP：ポンド数、引っ張るスピード、テンション付加率などを上げる
6. M1：よく設定するテンションを保存
7. PAUSE：テンションヘッドの動きを一時停止させ、ヘッドの動きを微調整することできる
8. SPEED：テンションヘッドの作動速度を調整する。
細いガットや伸びのよいガットを張るのに最適
9. TEST：工場出荷時の設定にリセット
10. POUNDS：テンション単位をポンドに変更
11. デジタル表示：デジタル液晶ディスプレイ
12. DOWN：テンションのポンド数、引っ張るスピード、テンション付加率などを下げる
13. M2：よく設定するテンションを保存
14. PRE-STRETCH：テンションの事前付加機能。事前付加率を10%、15%、20%、25%の4種類に設定できる。

3. テンションを設定し、張上げを開始

最初にキログラムまたはポンドを決定し(A)、その後のテンション数値を上向きまたは下向きの矢印で決定(B)。調整後、ガットツカミの裏側にある赤いボタン、または操作パネルの中心にあるスイッチを押してガットツカミを起動させる。

4. 自動テンション調節機能を起動

CONSTANT PULLボタンを押せば、赤いライトが点灯して自動テンション調節機能が起動します。設定されたテンションまでガットを引っ張った後でも、ガットはそれ自身の強靱性によりさらに伸び、場合によってテンションが落ちることもあります。そこで、ガットツカミがガットの伸びを感知して、適正テンションに自動的に調節します。

5. ガットの硬さと太さに合わせて、ガットツカミの作動速度を設定する

SPEEDボタンの初期設定値は、最速の3になっています。
SPEEDボタンを押したまま、UPまたはDOWNを同時に押せば、最も遅い1、中間2に切り替えることができます。
スピードの調整はできません。※スピードは変わりません

6. プリストレッチ率を設定する

PRE-STRETCHボタンとUPまたはDOWNを同時に押せば、プリストレッチの比率を10%・15%・20%・25%のいずれかに設定できます。
このようなテンションの事前付加は、通常ナチュラルガットや、伸びがよい高弾力性のガットを張る場合に使います。
例えば、テンションを25ポンドに設定した上、事前付加率を10%に設定すると、ガットツカミは27.5ポンドでガットを引っ張り、27.5ポンド到達後に25ポンドに戻ります。

7. M1とM2にポンド数を保存する

よく使うテンションをM1に保存したい場合、「ピッ」という音が2回聞こえるまでM1ボタンを長押ししてください。
同様に、M2に保存する場合、「ピッ」という音が2回聞こえるまでM2ボタンを長押ししてください。
ポンド数を保存しておけば、例えば、M1にはテニス、M2にはバドミントンと設定しておけば、必要なポンド数をすぐに呼び出すことができ、効率化も図れます。